

アクティブシニアと企業をつなぐ面接会について

埼玉県産業労働部雇用労働課長 高橋 利維

1. はじめに

中小企業が物価高など経営環境の変化に適切に対応していくためには、DXの推進等による生産性の向上や販路開拓など新たな事業展開が必要であり、こうした経営課題の解決を担う人材が必要となります。

他方、生産年齢人口の減少が進む中、シニア人材、特に役職定年や定年退職された方で、これまで培ってきたスキルやノウハウ、人脈などを活用し、地元や地域に貢献したいと考えている方（以下、「アクティブシニア」といいます。）が数多くいらっしゃいます。

そこで、埼玉県では、こうした経営課題の解決を目指す県内中小企業と、スキルなどを生かして活躍したいアクティブシニアをつなぐ面接会を開催しています。

2. 中小企業の雇用の現状

「埼玉県四半期経営動向調査」（令和6年4月～6月）では、現在の雇用者数の過不足感について、県内中小企業の60.0%が「適正」と回答しています。しかしながら「不足」と回答した割合は、昨年の34.0%か

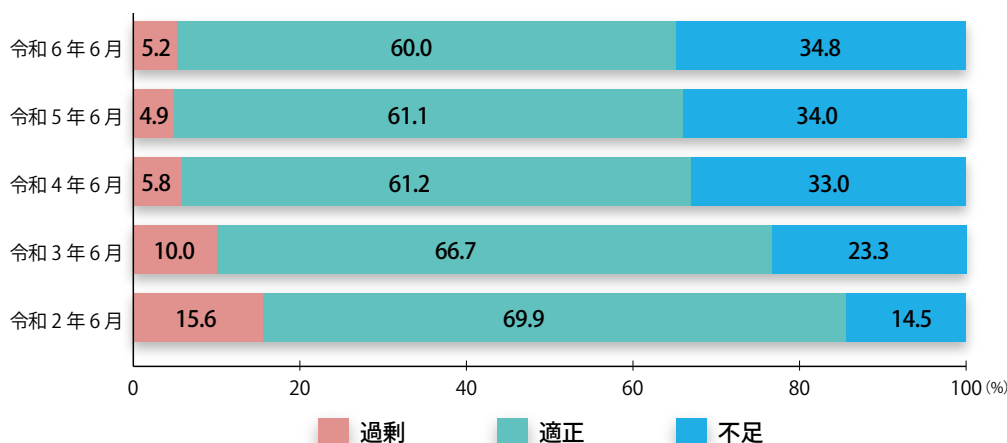
ら34.8%と増加しており、4年連続で「不足」が「過剰」を上回る人手不足が課題となっています。今後構造的に人口が減少していく中、人材の確保は益々厳しくなることが予想されます。（図表1）

人手不足対策のひとつとして、DXの推進等の業務改革による生産性の向上が急務とされていますが、中小企業がDXに取り組む上での課題では、「DXを担う人材がいない」（36.4%）が最も多く、次いで「資金の余裕がない」（32.7%）、「何をどう進めていいかわからない」（27.8%）となっています。（図表2）

独立行政法人中小企業基盤整備機構が行った「中小企業のDX推進に関する調査」（令和5年10月）でも、回答企業の71.9%が「DXを必要とする」と回答する一方、DXに取り組む課題については、「ITに関わる人材が足りない」（28.1%）、「DX推進に関わる人材が足りない」（27.2%）など回答企業の55.3%が「人材不足」を挙げています。

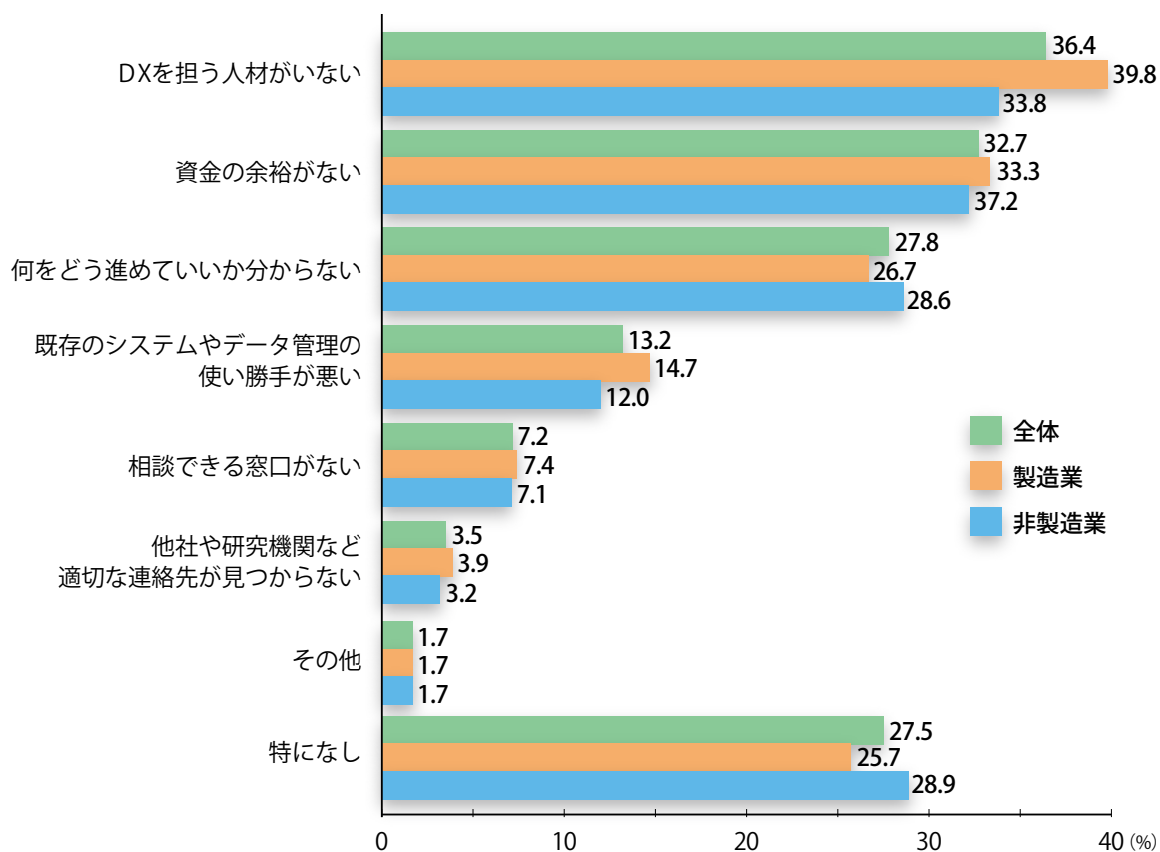
こうした調査結果からも、県内の多くの中小企業が、業務改革の手段や進め方、DXに関する知識などを持つ人材を十分に確保出来ていない状態が見て取れます。

図表1：現在の雇用者数の過不足感／全体（単一回答）



埼玉県四半期経営動向調査（令和6年4～6月期）より

図表 2 : DX に取り組む上での課題／全体・製造業・非製造業（複数回答）



埼玉県四半期経営動向調査（令和6年4～6月期）より

3. アクティビシニアの働く意識

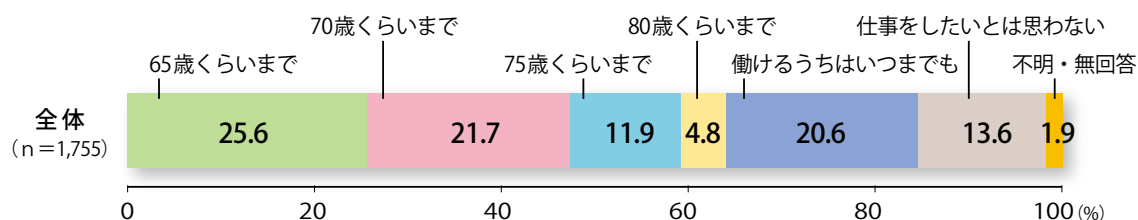
総務省の就業構造基本調査（令和4年）によると、埼玉県内の60歳以上の人口は2,419,300人です。うち有業者は782,400人（32.3%）、無業者は1,636,800人（67.7%）であり、60歳以上の無業者のうち就業を希望する人は153,600人です。

また、内閣府の「令和元年度高齢者の地域社会への

参加に関する意識調査」によると、65歳以上でも働く意欲のある人は6割にのびります。（図表3）

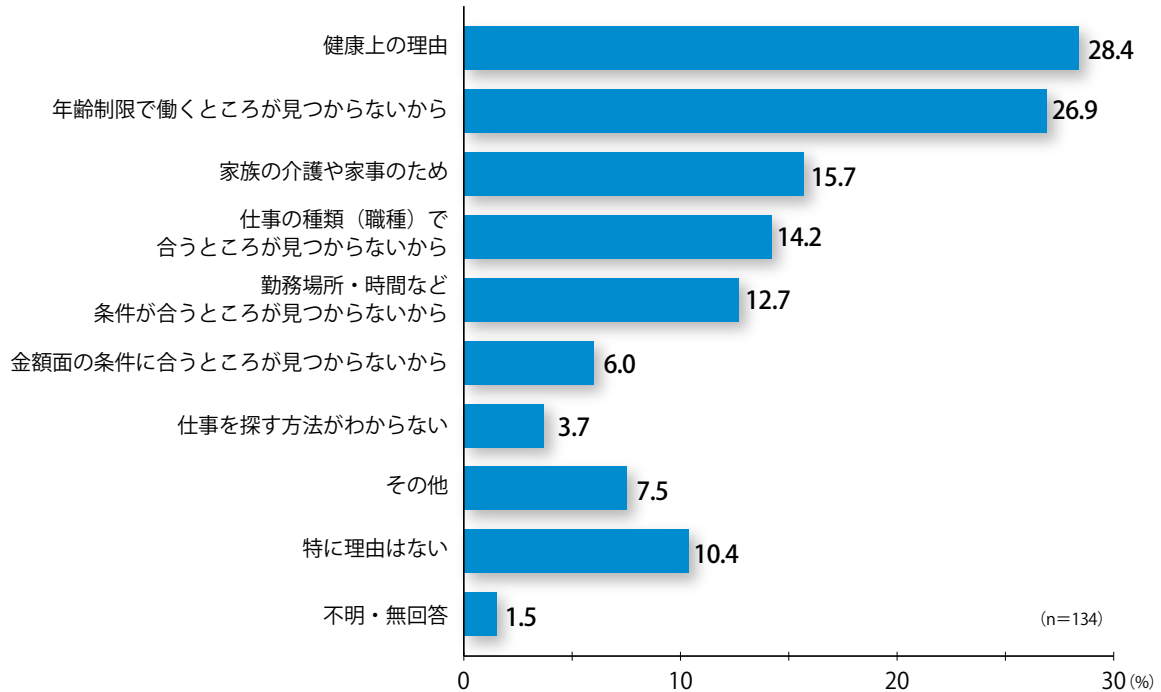
60歳以上で現在仕事をしていない理由は、「健康上の理由」（28.4%）を除くと、「年齢制限で働くところが見つからないから」（26.9%）、「仕事の種類（職種）で合うところが見つからないから」（14.2%）、「勤務場所・時間など条件が合うところが見つからないから」（12.7%）となっており、条件面で合う仕事を見つけ

図表 3 : 何歳まで収入を伴う仕事をしたいか（択一回答）



令和元年度高齢者の経済生活に関する調査（内閣府）より

図表 4：現在仕事をしていない理由（複数回答）



令和元年度高齢者の経済生活に関する調査（内閣府）より

られない人が5割を超えています。（図表 4）

人生 100 年時代と言われる中で、働く意欲のある多くのシニアの方の力が十分に生かされていない状況です。

4. アクティブシニアと企業をつなぐ面接会

埼玉県では、「企業人材サポートデスク」を設置し、県内中小企業の人材確保を支援しており、今年度は新たに「アクティブシニアと企業をつなぐ面接会」を開催しています。

この面接会の特徴は、経営課題を解決したい県内中小企業とスキルを生かして地元で活躍したいシニア人材との出会いの場として、一般的な雇用形態だけでなく、業務委託も含めた幅広い人材確保に活用できることです。今年度は、県内 10 か所で開催するほか、参加企業が多い場合には臨時での開催も検討します。

面接会に参加する方は、関東経済産業局に登録されているマネジメントメンターのほか、埼玉県が包括的連携協定を結んでいる事業者の人材に加え、今後、企業や大学の OB・OG 組織などとの連携も模索しながら参加者を拡大していきたいと考えています。

また、参加企業については、プロフェッショナル人材戦略拠点からの紹介によるほか、県が設置している産・官・学・金・労からなる「強い経済の構築に向けた埼玉県戦略会議」の構成団体などの協力を得ながら、広く経営課題の解決を希望する企業の募集を行っています。なお、面接会の情報や参加企業の募集は、随時ホームページを通じて御案内をしています。

5. おわりに

少子高齢化の進展により若年層の労働人口が減少する中、アクティブシニアを活用し、労働市場を活性化することが重要です。特に、スキルや経験を持つアクティブシニアは、企業にとって貴重な戦力になることが期待されています。

アクティブシニアと企業をつなぐ面接会に、皆様の積極的な御参加・御出展をお待ちしています。

面接会に関する HP 情報 ▶▶



「埼玉県企業人材サポートデスク熊谷」を開設しました

埼玉県では、企業人材サポートデスクを設置し、人材確保に悩む県内企業を支援しています。令和6年4月には、さいたま市及び川越市に続き、県内3番目となるサポートデスクを熊谷市にオープンしました。

県北地域の企業支援を強化するために設置した「埼玉県企業人材サポートデスク熊谷」を御紹介します。

■埼玉県企業人材サポートデスクとは

県内企業を人材確保の面から支援することを目的として設置している県の支援機関です。人事労務の経験豊富な専門相談員が採用に関する相談に対応するほか、各種面接会の開催を通じた企業と地域の人材のマッチング機会を提供しています。

■人材総合相談員が企業の人材確保を支援

「求人を出しても応募がない」「採用してもすぐ辞めてしまう」などの人材確保に関する企業のお悩みに、専門の相談員がアドバイスをします。

また、企業の求人票を分析して求職者を引き付ける書き方を提案したり、御希望により「企業紹介シート」を作成したりと、企業の様子や仕事の魅力を求職者にPRするお手伝いもします。



西田優埼玉工業大学教授のオープニング記念講演
「大学生の就職事情と新卒者が辞めない会社の実態」



オープニングセレモニーで挨拶する久保佳代子 埼玉県雇用労働局長

■各種面接会で企業と求職者のマッチングを支援

毎月複数回（ほぼ毎週）、「セミナー＆企業説明会」を開催しています。この「セミナー＆企業説明会」では、前半に求職者向けセミナーを実施した後、3社程度の企業から会社概要や募集求人の内容について御説明いただき、その後、希望者を対象とした個別面接会を実施します。

なお、企業人材サポートデスク熊谷では、熊谷市のほか、深谷市や本庄市などでも「セミナー＆企業説明会」を開催します。

また、今年度は4回（県全体では18回）、地元企業と地元で就職したい求職者とのマッチングを図る「地域合同就職相談会」を開催します。



地域合同就職相談会 in 加須（企業13社、求職者77人が参加）

■埼玉県企業人材サポートデスク熊谷

住所：〒360-0842 熊谷市新堀新田522

（埼玉県立熊谷高等技術専門校内）

電話：048-578-4626 FAX：048-578-4627